

主要施策の成果

平成22年度主要施策の成果（一般会計）

議会費関係

1 議会開催日数

○定例会	4回	会期日数	25日
○臨時会	3回	会期日数	3日

2 付議事件数

○町長提出	92件				
・条例	26件	・予算	33件	・決算	10件
・その他	14件	・専決・報告	9件		
○議員提出	34件				
・条例	1件	・報告	26件	・その他	7件

3 請願・陳情

○受理件数	11件
-------	-----

4 一般質問の人数

6月	4人	9月	5人		
12月	5人	3月	5人	計	19人

5 委員会

○議会運営委員会	8回	（議会運営 他）			
○常任委員会	19回				
・総務企画常任委員会		（付託事件審査、所管事務調査 他）		7回	
・教育民生常任委員会		（	〃	）	6回
・産業建設常任委員会		（	〃	）	6回
○広報特別委員会	13回	（議会だより編集 他、「議会だより第19～22号」発行）			
○3常任委員会合同調査	1回	（広域消防組織再編に関する先進事例調査：矢板市及び那須町）			

6 議員派遣

○行政調査	
-------	--

・群馬県甘楽町 外 平成22年10月25日・26日

○議員研修

・町村議会議員研修会(宇都宮市) 平成22年7月9日

総務費関係

1 人事関係（一般職員）

(1) 職員数の状況

	平成22.3.31現在	平成23.3.31現在
一般職	219人	214人
技能労務職	21人	19人
計	240人	233人

(注)年度末退職者を除いた人数

(2) 新規採用及び退職数の状況

	新規採用者	退職者
一般職	8人	13人
技能労務職	—	2人
計	8人	15人

2 那珂川町自治功労者等表彰

○自治功労者表彰 6名

○特別功労表彰 3名2団体

3 地方自治功労叙勲

○叙勲

川崎 和郎 氏 (旭日小綬章) 前那珂川町長、元栃木県議会議員

藤田 和夫 氏 (瑞宝双光章) 元馬頭中学校長、前那珂川町教育長

○高齢者叙勲

青柳 良英 氏 (旭日双光章) 元小川町選挙管理委員会委員長

小川 亘 氏 (旭日単光章) 元馬頭町議会議員

橋本 榮 氏 (瑞宝双光章) 元大山田小学校長

4 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

(1)交通安全対策

- 「那珂川町交通事故抑止対策町民集い」の開催
 - ・平成22年 9月 3日 山村開発センター

(2)交通指導員の設置

- 教育指導員 1名
- 一般指導員 6名

(3)交通安全教育の実施

- | | | |
|--------------|-----|--------|
| ○幼稚園・保育園児童対象 | 91回 | 3,380人 |
| ○小中学校児童生徒対象 | 30回 | 1,509人 |
| ○母親対象 | 9回 | 362人 |
| ○高齢者対象 | 41回 | 887人 |

(4)交通安全施設の整備

- カーブミラー 2基
- ガードレール 194m

(5)安全で安心なまちづくり

- 自主防犯団体の活動
 - ・役場防犯パトロール隊：火曜日、金曜日の午後にパトロールを実施
 - ・馬頭商工会青年部防犯隊：営業時間中にあわせて防犯活動を実施

5 交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、平成22年10月からデマンドタクシーの実証運行を開始した。なお、平成23年3月31日付をもって、町営バス・コミュニティバスを廃止した。

(1)デマンドタクシー「なかちゃん号」利用実績

22年度 月	時間帯別利用者数						利用者計 (月/人)	運行日数 (日)	1日あたり (人/日)
	7:30	9:00	10:30	12:30	14:00	15:30			
10月	45人	82人	54人	72人	38人	34人	325人	20日	16.3人
11月	43人	89人	95人	106人	34人	31人	398人	20日	19.9人

12月	40人	106人	89人	103人	37人	27人	402人	19日	21.2人
1月	34人	104人	116人	101人	48人	47人	450人	19日	23.7人
2月	47人	140人	141人	116人	73人	58人	575人	19日	30.3人
3月	84人	186人	186人	178人	68人	76人	778人	22日	35.4人
計	293人	707人	681人	676人	298人	273人	2,928人	119日	24.6人

○デマンド交通利用登録者数（平成23年3月31日現在）2,290人

(2) 町営バス及びコミュニティバス利用実績

路線名		運行開始	年間利用客数（人）			1日平均乗車数（人）		
			H22年度	H21年度	対前年度	H22年度	H21年度	対前年度
町 営 バ ス	馬頭大那地線	平成元年6月	7,482	10,300	△2,818	26.0	35.0	△9.0
	馬頭大山田線	平成2年6月	7,463	11,686	△4,223	26.0	39.7	△13.7
	馬頭小砂小口線	平成3年11月	7,582	7,110	472	26.4	24.2	2.2
	馬頭矢又富山線	平成6年4月	5,335	4,438	897	18.5	15.1	3.4
	馬頭谷川盛泉線	平成8年4月	5,015	5,260	△245	17.4	17.9	△0.5
	5路線計			32,877	38,794	△5,917	114.5	132.0
コ ミ ュ ニ テ ィ バ ス	幼稚園經由北廻り線	平成16年4月	4,735	6,126	△1,391	19.4	25.1	△5.7
	芳井線	平成16年4月	5,208	7,226	△2,018	14.6	19.9	△5.3
	浄法寺線	平成16年4月	385	402	△17	1.0	1.1	△0.1
	幼稚園經由南廻り線	平成16年4月	4,858	6,517	△1,659	19.9	26.7	△6.8
	小梨線	平成16年4月	6,391	6,469	△78	17.9	18.0	△0.1
	小川南線	平成16年4月	681	1,031	△350	1.9	2.8	△0.9
	6路線計			22,258	27,771	△5,513	74.7	93.4

(注) 運行日数

○町営バス ・ H22：287日 ・ H21：294日

○コミュニティバス

・ H22：356日 ただし、幼稚園經由北廻り線・幼稚園經由南廻り線は243日

・ H21：364日 ただし、幼稚園經由北廻り線・幼稚園經由南廻り線は244日

6 企画調整・地域振興

(1) 会議等の開催

まちづくりに資する計画の策定及び推進に関する事項を審議するため、町長の諮問機関である那珂川町まちづくり審議委員会を5回開催した。町の重要施策の審議及び事務事業の総合的な調整を図るため、庁議を9回開催した。また、調整担当者

会議を1回開催した。

(2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる那珂川町総合振興計画後期基本計画（平成23年度～平成27年度）を策定し、重点事務事業などの各種事業の進行管理を行った。

(3) 過疎地域自立促進計画の進行管理

過疎からの脱却を図るため、過疎地域自立促進計画（平成22年度～27年度）を策定し、重点事務事業などの各種事業の進行管理を行った。

(4) 情報システムの総合管理

情報資産を様々な脅威から保護することと、情報資産の機密性、安全性及び可用性を確保していくために那珂川町情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの総合管理を行った。

(5) 学官連携の取組み

学校法人宇都宮美術学院宇都宮メディア・アーツ専門学校との相互友好協力協定に基づき、次の事業を行った。

- ・「スポッ！と那珂川町」 2編制作
- ・那珂川町の昔話（アニメーション）2話制作
- ・環境教育用小冊子（漫画）作成・・・小学校4年生対象

(6) まちづくり3大重点プロジェクト

○ 「行財政改革」推進プロジェクト

那珂川町行財政改革大綱（平成17年度～22年度）及び具体的な取組項目をまとめた行財政改革推進計画（平成18年度～22年度）に基づき、行財政改革の推進を図った。

○ 「自然・環境との共生」推進プロジェクト

那珂川町環境基本計画に基づき、環境のまちづくり事業を推進した。

- ・環境のまちづくり推進会議
 - ◇ 推進会議 3回
 - ◇ 部会（自然環境・生活環境・資源エネルギー・環境学習） 29回
 - ◇ 視察・講演会参加 3回（36名）
- ・太陽光発電等設備導入補助
 - ◇ 太陽光発電 46件 補助額 6,735千円
 - ◇ 高効率給湯器 84件 補助額 4,110千円
- ・環境教育用小冊子（漫画）作成
 - ◇ テーマ 「ごみ」（小学4年生対象）
 - ◇ 作成方法 環境のまちづくり推進会議と町内小中学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校の連携により作成

◇ 作成部数 1,000 部

・ 広報啓発活動

◇ 広報なかがわに「環境について考えよう」の連載（5月号～翌年3月号）

○ 「地域高度情報化」推進プロジェクト

地域情報化基本計画及びケーブルテレビアプリケーション計画を基に、町情報化推進委員会を開催し、情報通信基盤の有効な利活用を検討した。

(7) 土地利用調整

那珂川町土地利用調整基本計画に基づき、適正な土地利用の誘導を行った。

(8) 協働によるまちづくり推進事業

○ 地域住民との協働によるまちづくり推進事業補助金

「地域住民が主役となる社会」、「地域住民が協働する社会」、「地域が自立する社会」を目指して、3つのまちづくり団体に対して補助金を交付した。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ・ 和見村おこし協議会 | 1 5 0 千円 |
| ・ 那珂川町商工会 | 3 3 2 千円（わがまち自慢推進事業） |
| ・ そば処ふれあいの舎利用組合 | 1 8 0 千円（わがまち自慢推進事業） |

(9) 提案型補助金制度

創意と工夫による住民本位のまちづくりを推進するため、提案型補助金制度により、新たに2件の提案を採択した。（継続10件）

7 広報・広聴

(1) 広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

○ 広報なかがわ（毎月10日発行） 5, 800部／月

(2) 那珂川町公式ホームページの運営

「行政情報」、「観光と文化」、「公共施設」、「町のデータ」の4つの柱をメインに、町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。また、ホームページのリニューアルに伴い導入したCMSを活用し、迅速で正確な情報の掲載に努めた。

(3) 町政懇談会の開催

町の行政全般について、町民から広く意見や要望を聞き、それらを町政に反映させるため、町政懇談会を開催した。

○ 開催場所 小学校体育館、地区集会所など16会場

○ 出席者数 451名

○ 内 容 協働のまちづくり推進計画について、那珂川町総合振興計画について、

那珂川町地域福祉計画について、デマンド型交通システムの導入について

(4) 統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

○学校基本調査

毎年5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼稚園の設置状況（児童生徒数、教諭の配置状況など）を調査した。

○国勢調査

10月1日を基準日とし、町内128調査区のすべての人と世帯を対象として人口の基本的属性、経済的属性などの状況を調査した。

○工業統計調査

毎年12月31日を基準日として、町内40調査区の製造業者の事業所（100事業所中、従業員数4人以上の55事業所を対象）の従業員数、売上高、製造品種などの状況を調査した。

(5) 行政事務連絡等

行政区長・班長を委嘱し、事務執行の協力を得た。

○行政区長 37人

○行政班長 196人

(6) 情報公開等

○情報公開の運用状況

公文書の開示請求はなかった。

○個人情報保護の運用状況

個人情報の開示請求はなかった。

8 税務

(1) 町税等収入状況

① 町税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
町 民 税	969,780,397	889,211,535	4,075,395	76,493,467	91.69
(1) 個 人	706,494,197	630,196,935	3,855,595	72,441,667	89.20
現年課税分	633,202,500	616,015,950	-	17,186,550	97.29
滞納繰越分	73,291,697	14,180,985	3,855,595	55,255,117	19.35
(2) 法 人	263,286,200	259,014,600	219,800	4,051,800	98.38
現年課税分	259,498,000	258,542,500	-	955,500	99.63
滞納繰越分	3,788,200	472,100	219,800	3,096,300	12.46

固定資産税	1,245,035,621	925,773,147	7,143,511	312,118,963	74.36
(1)固定資産税	1,238,978,921	919,716,447	7,143,511	312,118,963	74.23
現年課税分	991,462,900	880,114,600	33,600	111,314,700	88.77
滞納繰越分	247,516,021	39,601,847	7,109,911	200,804,263	16.00
(2)交付金	6,056,700	6,056,700	-	-	100.00
軽自動車税	45,998,509	41,009,687	335,180	4,653,642	89.15
現年課税分	41,322,100	40,198,300	-	1,123,800	97.28
滞納繰越分	4,676,409	811,387	335,180	3,529,842	17.35
町たばこ税	119,140,487	119,140,487	-	-	100.00
特別土地保有税	6,438,758	-	-	6,438,758	0.00
現年課税分	-	-	-	-	-
滞納繰越分	6,438,758	-	-	6,438,758	0.00
入湯税	16,716,340	16,622,760	-	93,580	99.44
現年課税分	16,659,410	16,615,420	-	43,990	99.74
滞納繰越分	56,930	7,340	-	49,590	12.89
町税合計	2,403,110,112	1,991,757,616	11,554,086	399,798,410	82.88
現年課税分	2,067,342,097	1,936,683,957	33,600	130,624,540	93.68
滞納繰越分	335,768,015	55,073,659	11,520,486	269,173,870	16.40

②国民健康保険税

(単位：円、%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
国民健康保険税	664,664,074	437,270,424	14,846,809	212,546,841	65.79
(1)特別徴収	34,153,500	34,153,500	-	-	100.00
(2)普通徴収	630,510,574	403,116,924	14,846,809	212,546,841	63.93
現年課税分	407,754,900	364,439,790	-	43,315,110	89.38
滞納繰越分	222,755,674	38,677,134	14,846,809	169,231,731	17.36

③介護保険料

(単位：円、%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
介護保険料	186,749,941	183,434,400	486,024	2,829,517	98.22
(1)特別徴収	174,312,400	174,312,400	-	-	100.00
(2)普通徴収	12,437,541	9,122,000	486,024	2,829,517	73.34
現年課税分	9,123,800	8,365,000	-	758,800	91.68
滞納繰越分	3,313,741	757,000	486,024	2,070,717	22.84

④後期高齢者医療保険料

(単位：円、%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
後期高齢者医療保険料	97,353,400	96,436,400	8,400	908,600	99.06
(1)特別徴収	78,715,600	78,830,600	-	△115,000	100.15
(2)普通徴収	18,637,800	17,605,800	8,400	1,023,600	94.46

現年課税分	17,540,000	16,719,000	-	821,000	95.32
滞納繰越分	1,097,800	886,800	8,400	202,600	80.78

※特別徴収還付未済額：115,000円

(2) 徴収嘱託員収納実績

○徴収嘱託員 2人

○収納額 66,843,623円

(3) 税務関係証明等

○件数 3,417件

○手数料 904,610円

9 戸籍・住民

住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出の正確且つ迅速な処理を行い、住民票や印鑑証明等の証明発行事務のスピードアップに努めた。戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

○戸籍届出等件数 1,029件（届出552件・送付477件）

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

○証明等発行件数	戸籍関係	9,603件
	住民票	9,229件
	印鑑証明	6,588件
	その他	1,889件

10 選挙

○那珂川町議会議員選挙	平成22年 4月18日執行	投票率：71.17%
○那珂川町大内財産区議会議員補欠選挙	平成22年 5月30日執行	無投票
○参議院議員通常選挙	平成22年 7月11日執行	投票率：57.21%
○那珂川町馬頭財産区議会議員選挙	平成22年12月 5日執行	無投票

11 監査委員

(1) 例月出納検査の実施

○4月から毎月実施 計12日

(2) 決算審査

○一般会計及び特別会計の審査期間	平成22年 7月20日～7月30日
○水道事業の審査日	平成22年 7月 9日
○意見書提出日	平成22年 8月11日

(3) 定期監査

○一般会計及び特別会計の監査期間	平成23年2月3日～2月10日
○水道事業の監査日	平成23年2月10日
○監査結果報告書提出日	平成23年2月21日

(4) 財政援助団体等補助監査

○旧馬頭商工会、旧小川商工会、馬頭商工会・小川商工会合併協議会、 旧馬頭観光協会、旧小川観光協会	平成22年10月22日
○那須南農業協同組合、東部3小学校統廃合準備委員会、 那珂川地区学校警察補導連絡協議会	平成22年11月22日
○那珂川町社会福祉協議会、那珂川町第九を歌う会、 那珂川町ジュニアボランティアズクラブ	平成22年12月20日
○監査結果報告書提出日	平成23年1月21日

(5) 財産区特別会計決算審査

○馬頭・武茂・大内・大山田財産区審査	平成22年7月21日
○意見書提出日	平成22年8月11日

民生費関係

1 福祉団体等への支援

地域での要援護者への対応及び地域福祉活動の強化のため、福祉団体等の育成・支援を実施した。

○民生委員児童委員への支援	50名	3,832千円
○社会福祉協議会への支援		
・社会福祉協議会運営費補助金		35,310千円
・社会福祉協議会事業費補助金		2,464千円

2 障害者福祉

障害者の自立更生を推進するため、身体障害者巡回診査更生相談、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

また、障害者施設の事業運営安定化のため、障害者自立支援特別対策事業を実施した。

○補装具給付及び修理	39件	2,218千円
○自立支援(更生)医療	69人	23,334千円

○重度心身障害者医療費助成	300人・5,890件	28,447千円
○特定疾患患者見舞金	97人	3,204千円
○障害者福祉サービス事業	90人	164,505千円
○障害者地域生活支援事業	132人	40,770千円
○障害者自立支援特別対策事業		370千円

3 高齢福祉

高齢者の生きがいづくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

○居室事業	0人	2,198千円
○敬老会	19会場・1,682人	6,955千円
○敬老祝金 (80～95歳)	516人	3,915千円
(100歳)	7人	700千円
○要援護者実態調査		3,874千円
○地域介護・福祉空間整備等施設整備事業 (アベテ・ひだまりのスプリンクラー設置)		5,661千円
○緊急通報システム装置の貸付(H23.3.31現在)	64件	2,482円
○ねたきり老人等寝具洗濯サービス事業	18人	210千円
○軽度生活援助事業	6人	160千円
○老人福祉施設入所措置(H23.3.31現在)	養護15人	43,746千円
○馬頭総合福祉センター管理運営	施設利用者19,103人	17,206千円
○小川総合福祉センター管理運営	施設利用者32,278人	20,688千円
○シルバー人材センター運営補助		4,900千円
○老人クラブ等社会活動推進事業(補助金)		2,550千円

4 国民年金

公的年金(国民年金)の必要性を十分に周知させるため、「広報なかがわ」への掲載等により普及推進を図った。また、成人式の新成人に年金のパンフレットを配布し、国民年金制度のPRに努めた。

○国民年金被保険者数	4,146人
	(1号:3,249人、3号:897人 ※H23.3月現在)

5 児童福祉

(1) 保育園の運営

町立保育園(6か所)を運営し、施設設備の充実を図るとともに措置児童の保育を行った。

○児童数 299人 62,926千円
 (3歳未満児110人、3歳児58人、4歳以上児131人)

(2)児童館の運営

児童館を運営し、生活上の遊び方などの行事を実施し、児童の健全育成に努めた。

○利用者数 6,061人 3,985千円

(3)放課後児童クラブの運営

下校後、保護者等が家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。また、対象児童を小学3年生から、小学6年生に拡充した。

○放課後児童クラブ運営事業 2箇所 36人 6,761千円

(4)児童手当の支給

小学校修了前の児童を養育している方に対し、手当を次のとおり支給した。

○被用者児童手当 延児童数 390人 3,900千円

○非被用者児童手当 " 211人 2,260千円

○特例給付 " 4人 60千円

○被用者小学校修了前特例給付 " 1,644人 9,570千円

○非被用者小学校修了前特例給付 " 898人 5,305千円

○小学校修了前特例給付 " 36人 190千円

○子ども手当

0歳から中学校修了までの子ども一人につき、月額1万3千円を、子どもを養育する父母等に支給し、子供の健やかな育ちを応援した。

3歳未満 被用者 延児童数 1,850人 24,050千円

非被用者 " 993人 12,896千円

小学校修了前 被用者 " 7,748人 100,724千円

非被用者 " 4,068人 52,871千円

中学校修了前 被用者 " 3,251人 42,263千円

非被用者 " 1,629人 21,177千円

(5)要保護児童対策

要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見と適切な対応に努めた。また、児童及び保護者を対象に「子どもの人権教育」を開催し、児童虐待の防止と、将来における虐待の連鎖を防止するよう努めた。

○実務担当者会議 11回

○子どもの人権教育「CAPなす」 14回 121人

6 母子・父子福祉

母子家庭や父子家庭に対して、遺児手当を支給し、制度の周知徹底に努めた。

また、ひとり親世帯・小学校3年生修了前までのこども・妊産婦に対して医療費の助成を行い、対象者の健康増進及び福祉の向上に努めた。

○遺児手当	7人		156千円
○ひとり親家庭医療費助成	537人	2,235件	5,204千円
○こども医療費助成	1,676人	12,769件	23,336千円
○妊産婦医療費助成	178人	365件	2,479千円

衛生費関係

1 保健予防

人生80年時代を迎え、町民の健康問題は最重要課題であり、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と、町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を実施した。

(1)健康づくり推進事業

ライフスタイルの多様化に伴い増加している生活習慣病を予防改善するために、栄養・食生活、運動・身体活動の見直しや習慣化について実践できるよう支援した。

○メンバーズらくらく運動倶楽部	31回		369人
○栄養改善及び健康増進	22回		517人
○カトレア会	10回		262人
○その他			
・「広報なかがわ」による啓発活動(高齢者の健康づくり)			12回
・「福祉まつり」での食育普及及び啓発活動	1回		100人
・「福祉まつり」での体組成測定	1回		86人

(2)生活習慣病予防対策事業

青壮年期からの生活習慣病予防と疾病の早期発見、早期治療を目的に、健康増進法に基づき、総合的な保健事業を実施した。

また、国の施策である「女性特有のがん検診推進事業」により、特定の年齢の女性のがん検診の自己負担金を無料とし、受診率の向上を図った。

○病態別栄養相談	9回		14人
○訪問指導	随時		20人
○基本健康診査(20～39歳)	26回		422人
○胃がん検診(20歳～)	26回		1,784人
○子宮がん検診(集団検診)(20歳～)	14回		1,255人
(うち、女性特有のがん検診推進事業受診者		64人)	

○子宮がん検診(個別検診)	9～2月	50人
(女性特有のがん検診推進事業)		
○乳がん検診(20歳～)	14回	1,697人
(うち、女性特有のがん検診推進事業受診者 224人)		
○乳がん検診(個別検診)	5回	33人
(女性特有のがん検診推進事業)		
○大腸がん検診(20歳～)	26回	2,584人
○肺がん検診(20歳～)	26回	2,716人
○前立腺がん検診	14回	870人
○肝炎ウィルス検診	26回	36人
○骨粗しょう症検診	14回	217人
○歯周疾患検診	7～9月	56人
○精神保健相談会	12回	24人
○のんびりくらぶ	91回	389人
○生活習慣病予防教室「なかがわフィットネス倶楽部」		
ヘルスアップコース	24回	333人
パワーアップコース	16回	170人

(3)母子保健対策事業

母子の一貫した健康管理を目指し、母子保健法に基づく健康教育・相談及び各種健診を実施した。また、成長過程におけるさまざまな発達課題に対して、関係機関と連携をとりながら、児の健やかな成長を促すことを目的とした発達障害児支援事業を実施した。

○新生児訪問(こんにちは赤ちゃん事業)	随時	89人
○母子手帳の交付	随時	108人
○乳児健診(4か月・8か月)	12回	182人
○1歳児相談	6回	106人
○1歳6か月児健診	6回	112人
○2歳児相談	6回	112人
○3歳児健診	6回	95人
○3歳児精密健康診査	随時	2人
○虫歯予防教室(フッ素塗布)	16回	559人
○妊産婦一般健康診査	随時	1,117人
○ひよこクラブ	27回	683人
○おかあさん塾	10回	232人

○のびのび発達相談	8回	186人
○乳幼児発達相談	10回	52人
○みかん教室（早期教育相談グループ教室）	11回	128人
○発達障害児事例検討会、研修会	3回	64人

(4) 不妊治療費助成事業

保険が適用されない高額な不妊治療に対し、経費の一部を助成する不妊治療助成事業を実施した。

○不妊治療費助成事業	随時	2人
------------	----	----

(5) 感染症予防対策事業

結核及び各種感染症の発症予防のため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施した。また、高齢者の肺炎罹患による重篤化予防のため、肺炎球菌ワクチンの助成を実施した。

○定期予防接種	・BCG接種	82人
	・ポリオ	198人
	・麻しん・風しん混合	530人
	・二種混合	139人
	・三種混合	390人
	・インフルエンザ	4,438人
	・日本脳炎	201人
○任意予防接種の助成	・肺炎球菌ワクチン	523人

(6) へき地医療対策事業

無医地区住民の医療を確保するため、へき地歯科巡回診療を実施した。

○対象地区：大内・大那地・小砂	18回	延77人
-----------------	-----	------

2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

(1) 廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

○廃棄物内訳

・可燃ごみ	4,027 t
・不燃ごみ	323 t
・資源ごみ	821 t
・粗大ごみ	102 t
・有害ごみ	8 t

※資源ごみ内訳	
・スチール缶	54 t
・アルミ缶	7 t
・ペットボトル	46 t
・びん類	184 t
・紙類	429 t
・布類	101 t

○搬入内訳

- ・委託業者収集搬入 4, 334 t
- ・直接搬入 947 t

(2) 畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登録、予防注射を実施した。

- 登録 88頭
- 予防注射 974頭
- 野犬・不用犬(猫)引取り 60(8)頭

(3) 合併処理浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、合併処理浄化槽設置に対し補助を行った。

- 合併処理浄化槽設置整備補助金 64件 25, 124千円

3 公園墓地・小川墓地

公園墓地200区画及び小川墓地24区画の維持管理を行った。

4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

(1) 河川等の水質検査の実施(37ヶ所)

(2) 騒音、悪臭等の防止対策

(3) 不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

(4) 北沢地区不法投棄物処理対策

行政区や地域振興推進組織の会議に出席し、最終処分場建設を前提とする地域振興策に関する協議を行った。また、議会と和見行政区の代表者とともに、県知事へ最終処分場建設の早期実現と地域振興策に関する最大限の支援を要望した。

その他、県と連携し、最終処分場の理解を深めてもらうための先進地視察を実施した。

○地域振興策に関する会議出席

- ・行政区(和見・小口) 4回
- ・地域振興推進組織(和見地域振興推進協議会) 1回

○県知事への要望

- ・最終処分場建設の実現と地域振興策支援要望 15名(12月24日 県庁)

○最終処分場先進地視察

・エコフロンティアかさま（茨城県笠間市）

4回（計98名）

農 林 水 産 業 費 関 係

1 農業委員会

農業委員会法に基づき、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事業を行った。

(1) 農地法に係る権利の設定・移転・転用等の許認可事務とともに、農業経営基盤法に基づく利用関係の調整や農地流動化の推進活動を実施した。

○ 農地法 3 条（農地の権利異動等）	4 6 件	2 1 9 筆	33.36ha
○ 農地法 4 条（自己農地の転用）	3 件	3 筆	0.34ha
○ 農地法 5 条（転用での権利設定・移転）	3 0 件	3 3 筆	1.79ha
○ 買受適格証明（公売・競売）	7 件		
○ 非農地証明	6 件		
○ 制限除外届出（電波事業者）	4 件		

(2) 農業委員会は、農地の公的管理主体として、食糧の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図るため、優良農地を対象に農地パトロールを行い、利用状況調査を実施した。

町そば生産組合員等と共に健武の細田地区に耕作放棄されていた遊休農地の解消対策を行った。

又、遊休農地の解消に向け、関係機関団体等と連携し、菜種・ヘアリーベッチの作付の促進と、試験的にマコモタケを作付けし、販路拡大等の検討会を実施した。

(3) J A と連携し、農業者年金制度の普及及び加入推進を行った。

(4) 関係機関と連携し、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び農業青色申告制度の普及推進活動を実施した。

2 農業振興事業

農業振興については、農産物販売の拠点整備や中山間地域の振興・環境保全の取り組みを行った。また、農地・水・環境保全向上対策事業、農業担い手の育成など農地利用の推進事業を行った。

さらに、遊休農地の解消に併せ、町農産品のブランド化事業を行った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	久那瀬農産物直売所整備	17,500	総事業費25,000
農産物販売施設整備事業	まほろば農産物直売所改築工事	3,297	
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業 急傾斜地 14集落 緩傾斜地 49集落	29,166	
農地・水・環境保全向上対策事業	農地水環境保全の良好な保全と 質的向上の共同作業 取組集落 8集落	3,894	総事業費15,244
使用済農業生産資材適正処理推進事業	使用済み農業用ビニール、農薬袋 等の処理	341	総事業費1,901
食育体験実践事業	農業・料理体験を通じて食育の推 進(6小学校)	300	
とちぎの集落営農確立支援事業	集落営農組織の育成	183	総事業費1,173
活力ある中山間地域づくり事業	播種プラント導入への助成	1,140	総事業費2,280
那珂川町農産品ブランド化推進事業	そば生産組合への助成	1,000	

3 畜産振興事業

J A那須南和牛部会、酪農組合等との連携により高品質の牛肉・生乳の生産を推進した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	和牛振興事業、優良乳用後継子牛保留 事業、家畜伝染病の予防対策事業、畜 産団体補助事業	4,112	

4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、農道整備事業等を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業	上組地区農道舗装工事 農道舗装L=501.4m 測量設計一式	10,432	繰越明許分
県単農業農村整備事業	小口地区農道整備事業 農道舗装L=1320m 測量設計一式	21,005	
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	30,563	

町単農村振興事業	高齢者生産活動施設排水設備工事 排水管布設L=58.6m	1,397	
----------	---------------------------------	-------	--

5 イノシシ肉加工事業

イノシシ肉処理加工施設を運営し、獣害の軽減及び特産品生産による地域の活性化を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
イノシシ肉加工事業	受入頭数 202頭 (町内70、町外132)	6,436	シシ肉販売収入 6,437

6 林業振興事業

松くい虫防除事業により森林病虫害の防除に努めるとともに、林道の維持管理及び作業道の整備により、間伐等森林整備を推進した。また、八溝産材の需要拡大を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
松くい虫防除事業	地上散布 3.1ha	304	
	衛生伐 24.0m ²	352	
森林整備地域活動支援交付事業	森林情報の収集活動及び境界・施業実施区域の明確化 9協定 2,099ha	18,249	
	森林の被害状況等調査 9協定 1,000ha	10,834	
元気な森づくり推進市町村交付金事業	里山の整備 5箇所 18.0ha	4,190	
	里山の管理 5箇所 41.2ha	3,119	
	鷲子沢地区里山拠点施設新築工事 1棟	5,600	
林道維持管理事業	鶴居峠御前岩線 路肩修繕工事 L=16.0m	384	
	城間線 支障木伐採業務委託 L=1,500m	977	
	城間線 側溝修繕	33	
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助11件	2,708	

◆ 林業施設利用状況

施設名	利用者数	備考
森林公園特産品生産施設	1,090人	
森林公園緑の展示館	968人	

観光乗馬施設（ホースランド）	549人	
県産材利用宿泊施設（ペンションひろせ）	536人	
緑の交流館	351人	

商工費関係

1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業、商工業振興事業等について支援した。

さらに、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

(1) 商工会の支援

○那珂川町商工会経営改善普及事業費補助金	13,143千円
○商工業振興事業費補助金	1,386千円
○商工会まちづくり委員会補助金	450千円

(2) 中小企業振興資金融資状況

○新規貸付件数	65件	206,420千円
○信用保証料補助額	65件	3,177千円
○特定中小企業者認定	5号	109件

(3) 地域資源活用の支援

○那珂川町里山温泉トラフグ研究会補助金	1,500千円
---------------------	---------

2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・料飲店等の紹介、地元特産品の宣伝及び観光イベントへの参加などに積極的に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

(1) 観光関連団体への補助

○那珂川町夏まつり実行委員会	4,000千円
○小川地区山車保存会	300千円
○那珂川町観光協会	8,000千円
○馬頭温泉保護開発協会	900千円

(2) 主な観光施設の利用状況（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村	1,394人	
町営温泉浴場・定住センター	69,950人	
観光センター	574,249人	推計値
ふるさとの森公園	7,759人	
カタクリ山公園	19,371人	

3 消費者行政

消費者被害拡大防止のため、消費生活相談について、パンフレットを全戸に配布し、町ケーブルテレビ等を通じて広報活動を行った。（相談件数4件）

4 開発推進

栃木県企業立地促進協議会等を通じ、情報収集に努め、企業訪問など誘致活動を行った。また、既存立地企業のフォローアップを行い、企業の定着促進を行った。

土木費関係

1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしていることから、地域間の幹線道路や生活道路を整備し、都市間を結ぶ主要幹線道路である国・県道の整備を関係機関に要望した。

（単位：千円）

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
道路改良舗装	大山田立野線	舗装一式 L=1,140m W=5.0m	32,000	うち繰越明許費 32,000
	日向線	改良・舗装・補償一式 L=611m W=5.0m	92,799	うち繰越明許費 20,233
	下馬頭4号線 外	改良・舗装一式 L=974m W=4.7m	21,336	うち繰越明許費 21,336
	和見立野線	舗装一式 L=1,820m W=3.0m	17,073	うち繰越明許費 17,073
	御前岩石神線	舗装一式 L=430.0m W=4.0m	4,809	うち繰越明許費 4,809
	松ヶ丘線	舗装一式 L=420m W=5.0m	9,513	うち繰越明許費 9,513
	上台須賀川線	舗装一式 L=560m W=3.0m	8,820	うち繰越明許費 8,820

	岩下線	舗装一式 L=240m W=5.3m	4,473	うち繰越明許費 4,473
	三輪後久保線	舗装一式 L=700m W=4.5m	10,353	うち繰越明許費 10,353
	下西駒形2号線	舗装一式 L=395m W=3.5m	4,756	うち繰越明許費 4,756
	恩田線	舗装一式 L=330m W=5.6m	7,455	うち繰越明許費 7,455
	古館新町線	舗装一式 L=280m W=2.4~4.1m	2,971	うち繰越明許費 2,971
	三輪仲町1号線	舗装一式 L=381m W=3.0m	2,845	うち繰越明許費 2,845
	谷田住宅2号線	改良・舗装一式 L=297m W=5.0m	36,888	
	南平板山線	舗装一式 L=125m W=5.0m	2,278	
	76号線	測量一式 L=2,700m W=10.50m	10,689	
	一渡戸大鳥線	測量・設計一式 L=500m W=10.0m	14,763	

2 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業(馬頭Ⅳ地区、和見Ⅰ地区)を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量 馬頭Ⅳ A=0.14km ² 和見Ⅰ A=1.19km ²	20,304	馬頭ⅣCD工程
	複製図作成・数値情報化 馬頭Ⅲ、谷川Ⅴ	462	

3 都市計画

市街地の景観形成と安全な住環境整備のため街なみ環境整備事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
街なみ環境整備事業	田町地区街路灯設置 11基	12,146	

4 公園

町民の身近な交流の場として、施設の維持管理に努めた。

5 住宅

町営住宅230戸、町有住宅81戸の維持管理を行い、良好な居住環境の整備に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容等	事業費	備考
町営古館住宅屋根防水工事	3号棟屋根防水 A=281㎡	2,310	
サン・コーポラス馬頭ケーブルテレビ接続工事	2棟 60戸	987	
町営旭町住宅フェンス設置工事	L=25m	241	

消 防 費 関 係

1 東日本大震災の概況

(1) 地震の概要

- ・発生日時 平成23年3月11日(金)午後2時46分頃
- ・震央地名 三陸沖(北緯38.1度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近)
- ・震源の深さ 約24km
- ・規模 マグニチュード9.0
- ・那珂川町の震度 震度6弱

(2) 家屋被害の状況

	住家	非住家	計
全壊	7	88	95
大規模半壊	9	21	30
半壊	58	138	196
一部損壊	3,133	1,124	4,257
計	3,207	1,313	4,520

2 火災の概況

平成22年度中の那珂川町における出動件数は15件で、前年度に比較して7件の増であった。

主な火災

発生日	場 所 等
4月3日	浄法寺地内建物火災(住家)
5月4日	白久地内建物火災(住家)
5月11日	矢又地内建物火災(住家)
7月19日	小川地内その他の火災(廃屋)

7月20日	三輪地内その他の火災（ビニールハウス）
8月16日	小川地内建物火災（住家）
12月 1日	薬利地内車両火災（車両）
12月 5日	大山田上郷地内建物・車両火災（納屋下屋・車両）
1月14日	大内地内建物火災（住家）
1月30日	谷川地内建物火災（納屋・ビニールハウス）
2月 8日	谷田地内その他の火災（原野）
2月27日	三川又地内その他の火災（河川敷）
3月17日	富山地内その他の火災（中州）
3月19日	小砂地内その他の火災（ふとん）
3月30日	矢又地内建物火災（納屋）

3 消防施設等の整備

耐震性防火水槽設置（40m³ 3箇所）

- ・小口地内（小口橋西側）
- ・浄法寺地内（林秀太宅前）
- ・谷田地内（谷田町営住宅南側）

4 消防団点検・訓練関係

①点検

10月31日 那珂川町消防団通常点検 出場率 78.4%

②訓練

6月 6日 那珂川町消防操法大会

教育費関係

1 学校教育

(1)小学校・中学校

県教育委員会の教育施策を踏まえ、人間尊重の精神を基盤として、豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。特に地域に根ざした調和と特色ある教育行政を課題とし、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図った。

また、適正規模での児童の健全な教育環境を整備するため、馬頭地区においては、

東部3小学校を統合し新たに馬頭東小学校として開校した。小川地区においては、小川地区小学校統合検討委員会で小川地区小学校の統合について検討を行った。

なお、教育環境の充実と教育施設・教材備品の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

○小学校児童通学費補助	1, 606千円
○小学校教育用コンピュータ機器借上	2, 808千円
○小学校教材備品費	973千円
○小学校就学援助費	3, 242千円
○小学校社会科副読本作成	811千円
○総合学習推進費	715千円
○中学校生徒通学費補助	1, 140千円
○中学校教育用コンピュータ機器借上	2, 904千円
○中学校教材備品費	845千円
○中学校就学援助費	3, 720千円
○外国語指導助手設置費	4, 261千円
○スクールバス運転業務	16, 610千円
○馬頭西小学校音楽室床改修工事設計業務（繰越明許）	420千円
○馬頭西小学校音楽室床改修工事（繰越明許）	4, 935千円
○小川小学校給水管改修工事設計業務（繰越明許）	1, 197千円
○小川小学校給水管改修工事監理業務（繰越明許）	788千円
○小川小学校給水管改修工事（繰越明許）	22, 680千円
○小川小学校・薬利小学校スクールバス購入費	20, 449千円
○馬頭中学校スクールバス購入費	12, 310千円
○馬頭東小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事設計業務	4, 830千円
○馬頭東小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事	33, 936千円
○馬頭東小学校スクールバス庇屋根設置工事	1, 155千円
○馬頭中学校危険立木及び校内立木伐採業務	1, 942千円
○小川中学校屋内体育館改築工事監理業務（繰越明許）	6, 195千円
○小川中学校校舎耐震補強工事監理業務（繰越明許）	1, 943千円
○小川中学校屋内体育館改築工事（繰越明許）	125, 042千円
○小川中学校校舎耐震補強工事（繰越明許）	25, 326千円
○小川中学校体育館解体工事設計業務	840千円
○小川中学校体育館跡地環境整備工事設計業務	788千円
○小川中学校体育館解体工事	19, 950千円
○小川中学校体育館跡地環境整備工事	14, 175千円

○小川中学校プレハブ倉庫設置工事	767千円
○小川中学出入庇設置工事	599千円
○小川中学校体育館内物品購入	3,669千円

(2)幼稚園

幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、家庭では体験できない社会・文化・自然などの体験を十分にさせながら、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った幼児を育てることに努めた。また、幼児教育の向上を図るため、教育内容の改善、施設設備の整備と教育環境の充実を図った。

○ひばり幼稚園

園児数 71名（3歳児18名、4歳児32名、5歳児21名）

○小川幼稚園

園児数 55名（3歳児14名、4歳児21名、5歳児20名）

(3)学校給食センター

学校給食法の趣旨を踏まえ、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

また、学校給食を活用した食育の推進に努めた。

○給食実施状況

・小学校6校、中学校2校、幼稚園2園、児童生徒職員数1,718人

・完全給食 給食実施回数187回（うち米飯112回）

給食実施総食数 300,570食

（幼稚園は、5月より週3日の完全給食（水・木・金）、4月と月・火は牛乳のみの給食を実施。）

・調理業務の民間委託実施（平成22年4月1日より）

○給食センター施設・設備の修繕工事（繰越明許）

・給食センター浄化槽改修工事設計業務委託 291千円

・ 〃 屋根改修（防水）工事設計業務委託 460千円

・ 〃 食器洗浄機修繕工事設計業務委託 75千円

・ 〃 既存ピット内配管改修取替工事設計業務委託 130千円

・ 〃 屋根改修工事外2監理業務委託 672千円

・ 〃 浄化槽改修工事 4,116千円

・ 〃 屋根改修（防水）工事 7,770千円

・ 〃 洗浄機その他機器修繕工事 11,550千円

・ 〃 既存ピット内配管改修工事 1,628千円

○給食センター施設災害復旧

東日本大震災（平成23年3月11日発生）による給食センター施設の災害復旧

工事を実施した。

- | | |
|--------------------|-------|
| ・給食センター補修工事 | 645千円 |
| ・ 〃 ボイラー室給水配管等修繕工事 | 210千円 |

2 社会教育

町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境の形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたって社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成をねらいに学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民に活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努めた。さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を高めることをねらいに地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

(1)生涯学習

生涯学習の啓発・普及を図り、理解を深めるため「なかがわ町民大学」を実施した。

(2)青少年教育

青少年の社会参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進した。また、青少年の健全育成に努めた。

- ジュニアボランティアズクラブの育成・指導
- 青少年育成協会の育成・指導
- 成人式の開催

(3)成人教育

家庭教育学級、幼児教育学級、思春期子育て講座を実施し、家庭教育などの重要性について理解を深めるとともに、家庭での実践を促すために親学習プログラムを実施した。

(4)高齢者教育

高齢者を対象に「シルバー大学」を開設し、集団による学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

(5)公民館活動

子育て支援（すくすくクラブ）や歴史学習（放送利用講座）、自然体験（ネイチャークラブ）や親子のふれあい（親子わくわく塾）など幅広い学習の場の提供に努めた。

また、小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、企業などによる会議や研修の場として提供した。

- 利用件数 551件 利用人数 4,795人

(6) 国際交流活動

国際社会への対応と国際理解を深めるため、青少年海外体験学習派遣事業、ホームステイウィークエンド事業、ホースヘッズ村交流事業等を実施した。

(7) 芸術文化活動

文化祭の開催や文化団体の育成に努めた。また、小川地区の小学生を対象に、移動音楽教室（オペラ）を実施した。

- 芸術文化の振興
- 文化財保護事業
- 子どもの森の管理

(8) 美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い、芸術その他の文化の振興に努めた。

○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入 館 者 数(人)
4月17日～5月16日	春季特別展「シャガールー愛のメッセージ」(前期)	4,306人
5月21日～6月20日	春季特別展「シャガールー愛のメッセージ」(後期)	3,126人
6月25日～7月25日	近代版画のはじまり ー川瀬巴水、伊東深水ほかー	1,782人
7月30日～8月29日	夏季特別展「葛飾北斎生誕 250年記念 富嶽三十六景と風景画展」	5,261人
9月4日～10月3日	秋季特別展「二大街道絵展 東海道と木曾街道の旅」(前期)	2,345人
10月8日～11月14日	秋季特別展「二大街道絵展 東海道と木曾街道の旅」(後期)	4,535人
11月19日～1月10日	星野道夫 アラスカの旅	5,914人
1月15日～2月27日	青木コレクション展①	1,553人
3月4日～4月17日	青木コレクション展②	831人
計	特別展5回、企画展4回	29,653人

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 名	観 覧 者 数(人)
6月18日～6月20日	花をたずねて・2人写真展	380人
8月3日～8月8日	2010年あいらぶ写真展	621人
8月10日～8月15日	家族写真展（G展）	385人
9月18日～9月23日	「安心の村は自立の村」－長野県泰阜村－写真展	233人
10月9日～10月11日	シルバー大学北校美術部展	300人
10月26日～11月7日	秋の押し花作品展	650人
11月12日～11月14日	住宅建築の解説と模型展	450人
11月19日～11月23日	第4回「写友那珂川」写真展	320人
11月30日～12月5日	秋山庄太郎写真芸術協会展	991人
3月10日～3月11日	那珂川町、宇都宮メディア・アーツ専門学校学官連携展	24人
計		4,354人

○調査研究・教育普及活動

- ・図録の発刊 「葛飾北斎生誕250年記念展」－富嶽三十六景と風景画－
- ・秋季特別展 記念講演会 15人参加
那珂川町馬頭広重美術館開館10周年記念講演会 180人参加
- ・ミュージアムトークの開催（各展覧会）
- ・ワークショップの開催 6回 61人参加
- ・第6回那珂川町児童生徒版画コンクール 応募作品数：885点

(9)郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図るため、企画展を開催した。

- 古文書講座の開催 9回 延べ89人
- 企画展 1回
- 年間入館者数 6,685人 開館日数 267日

(10)山村開発センター

住民の各種研修・会議・集会等に利用された。また、行政機関、学校、企業などによる会議、研修の場として提供した。

- 利用件数 548件 利用人数 10,259人

(11) 図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

○図書館奉仕業務の充実

○図書館資料(図書・行政資料・逐次刊行物・郷土資料)の収集と充実

・受入冊数 3, 071冊

○視聴覚資料(CD・DVD・ビデオ)の充実

○調査相談業務(レファレンス業務)の実施と充実

○教育・保育機関等への団体貸出の促進

○子ども読書活動の推進

○国立国会図書館、県内図書館等との図書館資料の相互貸借の実施と充実

○「調べ学習」支援を中心とする学社連携体制の促進

○図書館運営及び活動の調査と研究(図書館協議会)

○ボランティア活動(婦人・高校生)の実施と充実

○年間利用状況

・登録者数 4, 091人

・図書貸出冊数 77, 318冊

○文化事業の開催と文化活動の推進

・お話会	幼児～小学生対象	46回	459人
・読書会	全町民対象	24回	132人
・ブックスタート	乳幼児・保護者対象	6回	230人
・幼稚園児の図書室利用	年長児及び年中児	29回	612人
・工作教室	幼児～小学生対象	2回	38人
・親子読書教室	幼児・保護者対象	2回	49人
・文芸講演会	児童・保護者対象	1回	146人
・展示会	全町民対象	2回	930人
・文学散歩	全町民対象	1回	23人

(12) なす風土記の丘資料館管理運営受託事業

史跡・資料等の適切な保存を図り、これらを広く県内外の人々に公開するとともに、古代那須の歴史への理解を深め、学習の場を提供し、文化財愛護思想の普及高揚に役立てていきたいと考え、小川館・湯津上館ごとのテーマに沿った関係資料の収蔵・展示を行うほか、各種展示会や体験講座などを開催した。

○展示会関係

会 期	展 示 会 名	場 所	入館者数(人)
4月10日～ 6月27日	第19回特別展 「那須烏山市の遺跡から」	湯 津 上 館	3, 4 9 3
7月10日～ 8月29日	なつ！風土記 「発見！古代なすの歴史」	小 川 館	2, 2 3 8
9月18日～11月23日	第18回企画展 「那須のゆりがね －産金の歴史－」	湯 津 上 館	1, 6 3 7
12月 4日～ 1月30日	冬休み小中学生向け展示会 「卯を考古学する」	小 川 館	1, 0 1 7
2月 5日～ 3月21日	平成22年度巡回展 「栃木の遺跡 －最近の発掘調査の成果から－」	小 川 館	1, 1 8 6

○展示会関連行事

実 施 日	行 事 名	場 所	参加者数(人)
5月29日	特別展記念講演会	小川館	67
5月29日	特別展ギャラリートーク	湯津上館	36
6月13日	春の史跡見学会	群馬県方面	43
7月10日	「展示に挑戦！」	小川館	20
7月24日	土器をつくろう！	小川館	19
8月 7日	拓本をとろう！	小川館	10
8月21日	土器を焼こう！	小川館	20
9月20日	企画展オープニングイベント 古代産金体験	湯津上館	25
10月 3日	秋の史跡見学会	栃木県方面	34
10月17日	企画展記念講演会・シンポジウム	ふるさと館	68
10月17日	企画展ギャラリートーク	湯津上館	35
11月 7日	ゆりがねウォーク	那珂川町	36
12月 5日	古代文字講座	小川館	39
12月19日	ミニ門松づくり	小川館	6
2月20日	成果発表会・遺跡発表会	小川館	147

○普及啓発活動

出前授業として県内各所から依頼を受け、講義を16回、体験教室を19回実施したほか、この地域の歴史を学び展示解説等の補助として活かす歴史解説員養成講座を全14回行った。

3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

(1) 体育施設・夜間照明施設・学校施設(体育施設)の利用状況

施 設 名		利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体 育 施 設	総合体育館	312	31	10,774
	馬頭西体育館	250	12	1,694
	小川体育館	224	21	18,274
	健武体育館	103	9	1,615
	武茂体育館	115	5	1,362
	谷川体育館	52	11	1,819
	大山田体育館	97	7	2,250
	馬頭武道館	218	3	2,940
	小川武道館	95	1	1,560
	小川弓道場	48	1	288
	馬頭運動場	238	24	28,258
	武茂運動場	133	2	3,780
	大山田下郷運動場	179	6	5,965
	小川運動場	315	26	22,876
	小川庭球場	307	12	9,680
	馬頭水泳プール	50	—	1,721
	小川水泳プール	41	—	1,300
	合 計	2,777	171	116,156
	(う ち 夜 間 照 明)	馬頭運動場	153	9
武茂運動場		133	2	3,780
大山田下郷運動場		105	4	3,095
小川運動場		176	9	5,795
小川庭球場		294	4	2,590
馬頭東小運動場		111	3	3,663

	小川南小運動場		2 2 0	2	8, 0 6 0
	合 計		1, 1 9 2	3 3	3 1, 3 3 6
学 校 施 設	馬頭小学校	校庭	2	2	1 3 0
		体育館	1 7 3	5	3, 7 2 1
	馬頭東小学校	校庭	1 1 1	3	3, 6 6 3
		体育館	6 1	5	1, 3 5 6
	小川小学校	校庭	6 0	2	9 5 0
		体育館	2 6 0	3	4, 4 3 2
	薬利小学校	校庭	1	1	8 0
		体育館	2 3	4	5 1 0
	小川南小学校	校庭	2 4 1	4	8, 0 6 0
		体育館	8 0	5	1, 4 2 1
	馬頭中学校	校庭	—	—	—
		体育館	6 7	3	2 0 1
	小川中学校	校庭	—	—	—
		体育館	1	1	2 3
	合 計	校庭	4 1 5	1 2	1 2, 8 8 3
		体育館	6 6 5	2 6	1 1, 6 6 4

(2) 社会体育活動の推進（各種体育行事の開催状況）

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
○町民各種大会 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・アーチェリー ・登山 ・バレーボール ・剣道 ・スキー ・バスケットボール ・ソフトボール ・ソフトバレーボール ・ゆりがねマラソン大会	3 2	7 1	4, 4 1 1
○各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・なすみなみ若鮎駅伝競走大会 ・県民スポーツ大会	3	3	1 3 7

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(2 2 専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(3 1 支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

また、総合型地域スポーツクラブの設立を推進するため、会議やスポーツ教室等を開催した。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

- ・スポーツクラブ 91団体 1,286人
- ・スポーツ少年団 12団体 248人

○総合型地域スポーツクラブ設立事業

- ・統合型地域スポーツクラブ設立準備委員会及び運営委員会の開催 14回
- ・総合型地域スポーツクラブ(まほろばの里スポーツクラブ)の設立 2月26日

(4)スポーツの普及活動

- スポーツ講習会の開催
- スポーツ傷害保険の加入促進
- スポーツカレンダーの発行

(5)第24回全国スポーツ・レクリエーション祭3B体操大会開催準備事業

- 3B体操の普及啓発
- 那珂川町実行委員会、専門委員会の設立・会議開催
- 「スポレク“エコとちぎ”2011リハーサル大会」

第11回3B体操栃木県支部交流会の開催 10月24日 653名

災害復旧費関係

1 農林水産施設災害復旧事業

平成22年6月・12月発生 of 集中豪雨及び平成23年3月発生 of 東北地方太平洋沖地震により被害を受けた農林水産施設について災害復旧事業を実施した。

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
農地・農業用施設災害復旧事業	農道災害仮復旧工事	1,995	
町単災害復旧事業	町単災害補助金3件	417	
林業用施設災害復旧事業	林業施設仮復旧工事	63	

2 公共土木施設災害復旧事業

平成23年3月11日発生 of 東北地方太平洋沖地震により被害を受けた公共土木施設について災害復旧事業を実施した。

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
道路施設災害復旧事業 (町単独災害復旧事業分)	道路3件	1,100	

平成22年度主要施策の成果（特別会計）

ケーブルテレビ事業

ケーブルテレビ施設の適正な維持管理を行い、インターネット接続サービス、CS有料放送サービス、IP電話サービスなど情報通信サービスを提供するとともに、各種の自主放送番組の提供や文字放送の充実及び広告放送の推進に努めた。

ケーブルテレビ施設の管理運営

○加入者件数	4,870件（79.3%）
・インターネット接続サービス	1,156件
・IP電話サービス	206件
・CS有料放送サービス	226件
・STBレンタルサービス	58件
○再送信サービス	
・地上デジタル放送	9局
・地上アナログ放送	9局
・衛星BSデジタル放送	8局
・FMラジオ放送	4局
○CS有料放送サービス	
・ゴルフネットワーク外	31局
○通信系宅内配線工事費補助金	181千円（8件）
○主な工事	
・久那瀬小口地区ケーブルテレビ線移設工事	14,175千円
○主な自主制作番組	
・ニュースNタウン	収録90回 放送150時間／月
・Nタウンピックアップ	11回
・災害情報	2回
・災害対応文字放送	
○生中継番組	
・町議会定例会、臨時会	7回
・合併5周年記念式典	1回

○企画番組

・町は今そしてこれから	1回
・わんぱくざかり	6回
・広重美術館へようこそ	7回
・那珂川町再発見	1回
・スポット那珂川町	2回
・3B体操	4回
・那珂川町の昔話	4回
・青少年海外体験学習SP	1回
・子供いきいきコンサート	1回
・少年の主張	1回
・スマイルコンサート	1回
・英語スピーチコンテスト	1回
・ハートフルコンサート	1回
・みんなで子育て再確認	1回
・맘ソウルコンサート	1回
・子育て講演会	1回
・健康と福祉のセミナー	1回
・メディアアーツ卒業制作	1回
・インフルエンザ予防	2回
・那珂川警察署から	2回

特別企画番組

- ・ニュースダイジェスト（上半期、下半期）
- ・新春あいさつ（町長、議長、教育長、JA、森林組合、商工会、観光協会）

○その他の番組

- ・県政のコンテンツ番組 3タイトル
- ・グリーンチャンネル
- ・NHKエンタープライズ（教養娯楽番組）
- ・サイエンスチャンネル（THE MAKING他）

○文字放送

- ・通常のお知らせ 166件

○広告放送

- ・文字放送（有料） 32件
- ・年賀文字放送（有料） 17件
- ・映像放送 1件

国民健康保険事業

保健事業においては、人間ドックなどの事業を通して、生活習慣病の早期発見、早期治療といった被保険者自身の意識の高揚と国保運営の健全化に努めた。

1 療養の給付等

療養諸費費用額負担の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	項目	件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
一般被保険者	療養の給付	74,326	1,431,645	1,036,669	359,616	35,360
	療養費	2,025	17,099	12,348	4,386	365
	計	76,351	1,448,744	1,049,017	364,002	35,725
退職被保険者等	療養の給付	7,773	151,980	106,322	44,602	1,056
	療養費	214	1,817	1,272	545	-
	計	7,987	153,797	107,594	45,147	1,056
合計		84,338	1,602,541	1,156,611	409,149	36,781

2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費に対して、次のとおり支給した。

○出産育児一時金	27件	11,280千円
○葬祭費	26件	1,300千円
○高額療養費	1,912件	134,792千円
・一般	1,775件	122,255千円
・退職	137件	12,537千円

3 国保世帯数、被保険者の状況

○平均世帯数	3,249世帯
○平均被保険者数	6,533人

4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策として、次のとおり実施した。

○特定健診	1,627名
○特定保健指導	213名

2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請及び更新は、1,178件であり、これらを調査(一部委託)したのち、認定審査会にて審議され認定した。なお、平成22年度末の認定者数は931人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護(要支援)認定者数(平成21年度末)

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
1号被保険者	34	87	—	136	177	187	145	125	891
2号被保険者	—	2	—	7	11	9	3	8	40
計	34	89	—	143	188	196	148	133	931

3 利用及び給付状況

介護給付利用の総件数は25,077件、給付費総額は1,809,158千円で、その内訳は次のとおりである。

○居宅介護サービス給付費	9,278件	431,995千円
○地域密着型居宅介護サービス給付費	908件	97,116千円
○施設介護サービス給付費	2,192件	553,917千円
・介護老人福祉施設	1,365件	333,821千円
・介護老人保健施設	760件	195,990千円
・介護療養型医療施設	67件	24,107千円
○居宅介護福祉用具購入費	48件	1,013千円
○居宅介護住宅改修費	18件	2,059千円
○居宅介護サービス計画給付費	4,962件	57,942千円
○介護予防サービス給付費	774件	20,141千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	28件	1,914千円
○介護予防福祉用具購入費	2件	27千円
○介護予防住宅改修費	2件	341千円
○介護予防サービス計画給付費	656件	2,811千円
○高額介護サービス費	2,012件	21,005千円
○高額医療合算介護サービス費	75件	2,901千円
○特定入所者介護サービス給付費	1,930件	62,058千円

4 地域支援事業

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、以下の事業を実施した。

(1) 介護予防特定高齢者施策

要支援・要介護になるおそれの高い者等の把握と介護予防事業（通所型・訪問型）を実施した。

○特定高齢者把握事業

生活習慣病検診及び医療機関検診の結果をうけて、特定高齢者の把握決定を行った。

・生活習慣病検診（生活機能実施者、65歳以上）	26回	1,229人
・医療機関検診	7～9月	908人

○通所型介護予防事業

把握された特定高齢者を対象に、「運動機能の向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」を目的とした介護予防教室を実施した。

・前期教室	15回	206人
・後期教室	15回	246人
・転ばん運動教室（継続）	36回	408人
・運動サロン	24回	135人

○訪問型介護予防教室

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある特定高齢者を対象に、専門医による相談会と保健師による訪問を実施し、必要な相談、指導を実施した。

・精神保健相談会	12回	24人（うち高齢者4人）
・保健師による訪問指導		41人

(2) 介護予防一般高齢者施策

一般高齢者を対象として、介護予防に関する知識の普及・啓発と、介護予防ボランティアの育成を行った。

○介護予防普及啓発事業

各単位老人クラブや町社会福祉協議会の事業と連携し、転倒予防のための運動指導を実施した。

・那珂川おたっしや会	32回	411人
・ふれ合いいきいきサロン	8回	103人

○地域介護予防活動支援事業

介護予防ボランティア「ほっとなかがわ」の育成と教室への協力。

・ボランティア研修会	2回	20人
・介護予防教室への協力	84回	363人

(3) 介護予防ケアマネジメント事業

特定高齢者及び要介護認定において要支援1・2となった対象者の介護予防プランの作成を実施した。

- 特定高齢者介護予防プラン作成 33人
- 要支援1・2の者の居宅介護予防支援 延663件（内委託172件）

(4)総合相談支援事業

介護保険その他の保健福祉サービスに関する相談や高齢者虐待に対する相談、指導の実施と介護支援専門員への指導

- 介護相談件数 280件
- 高齢者虐待対応 6件
- 権利擁護（成年後見制度等） 2件
- 高齢者実態把握 306件

(5)包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員への助言、指導と処遇困難事例のケース検討会の開催を実施した。

- 事例検討会の開催 18回

(6)任意事業

- 地域自立生活支援事業（生活援助員派遣事業）

高齢者等へのホームヘルパー派遣

時間：152時間 委託先：那珂川町社会福祉協議会

- 家族介護教室

専門医による「認知症の基礎知識」の講話や、精神保健福祉士による対応の仕方の講話、又認知症の方が利用する施設の見学等を実施

開催回数：6回 参加者：59人

- 認知症サポーター育成事業

「認知症サポーター講座」を実施し、地域で認知症者を支えるサポーターの育成を図った。

開催回数：3回 参加者：179人

- 寝たきり老人等介護手当等の支給

- ・寝たきり老人等介護手当 142人 6,355千円
- ・おむつ手当 118人 5,280千円

- 地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの活動状況の実績報告及び、次年度の活動予定の承認

開催日：平成23年3月4日

下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の確保のため、下水道整備の実施及び施設の維持管理に努めた。

馬頭処理区については、供用開始区域の加入促進を図った。

概要については、次のとおりである。

(1) 整備事業（馬頭処理区）

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管渠工事L=913.5m (硬質塩化ビニル管φ150)	50,956	国庫補助金 25,000
	付帯工事、公共ます設置工事	5,345	

(2) 施設管理の状況

項目	単位	馬頭処理区	小川処理区
処理区域面積	ha	96	84
処理区内人口	人	1,782	2,878
処理人口	人	759	2,424
水洗化率	%	42.6	84.2
接続戸数	戸	335	853
年間処理水量	m ³	112,249	300,331
1日平均処理水量	m ³	308	823
年間汚泥脱水ケーキ量	t	63	241

農業集落排水事業

農業用用水の水質保全、環境の改善等を図り、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項目	単位	北向田地区	三輪地区
処理区域面積	ha	33.0	16.3
処理区内人口	人	467	343

処理人口	人	449	314
水洗化率	%	96.1	91.5
接続戸数	戸	135	91
年間処理水量	m ³	72,683	30,293
1日平均処理水量	m ³	199	83
年間汚泥引抜量	m ³	122	216

簡易水道事業

簡易水道事業として設置されている8施設における水道水の安定供給および施設能力の維持管理に万全を期した。なお、地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用し、配水管の布設及び布設替え、小砂地区水源電気探査業務等を行った。

(1) 主な整備事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
山崎地内配水管布設工事	L=125.5m HPPEΦ75mm L=252.6m PPΦ50mm	9,786	交付金事業 (繰越明許)
	L=264.3m HPPEΦ75mm	5,796	
谷田地内配水管布設替工事	L=323m HPPEΦ100mm	5,019	交付金事業 (繰越明許)
片平地内配水管布設替工事	L=29.2m DIPΦ100mm	1,050	
小砂地区簡易水道水源電気探査業務	0.3Km×2測線	3,076	交付金事業 (繰越明許)
小砂地内水源井試掘工事	D=60m	1,785	
小砂地内水源さく井工事	D=80m	5,723	
南部地区簡易水道水源電気探査業務	0.3Km×3測線	3,645	
小川地区簡易水道記録計設置工事	4基	1,785	交付金事業 (繰越明許)
富山簡易水道第3取水ポンプ交換工事	水中モーターポンプ 1基	2,520	
大那地浄水場電気計装改修工事	取水・配水流量計設置	2,310	
西部浄水場電気計装改修工事	プログラムコントロール1式	1,512	

(2) 施設管理の状況

項目	小砂地区	富山地区	矢又地区	大那地区	中部地区	北部地区	南部地区	西部地区	計
給水人口 (人)	1,298	348	262	168	3,731	1,144	1,508	246	8,705
給水戸数 (戸)	382	110	81	51	1,363	349	464	67	2,867
年間総配水量 (m ³)	102,587	28,251	21,928	9,639	432,773	105,346	112,008	21,337	833,869
年間総給水量 (m ³)	86,399	24,141	18,437	8,641	347,214	89,692	110,765	18,000	703,289
有収率(%)	84.22	85.45	84.08	89.65	80.23	85.14	98.89	84.36	84.34
1日平均配水量 (m ³)	281	77	60	26	1,186	289	307	58	
1日平均給水量 (m ³)	237	66	51	24	951	246	303	49	
1人1日当り平均配水量 (ℓ)	217	222	229	157	318	252	203	238	
1人1日当り平均給水量 (ℓ)	182	190	193	141	255	215	201	200	